

紺 珀 石

調布稲門会
会報

当会は昭和五十六年十月の創立から十周年を迎えて去る五月二十六日(日)午後一時から記念総会を行った。

調布市福祉会館小ホールで先づ総会を開いた。関幹事の司会で元木副会

長の開会の辞に始まり林会長の挨拶、来賓として西原前総長、石黒校友会

代表幹事の祝辞、富沢副会長の会務並びに会計報告の後中村副会長の閉

会の言葉で総会を終えた。この後半後二時より大ホールで記念講演会に

移った。これは調布市と教育委員会の後援と体育協会の協賛を得て一般

にも公開した。会はNHKニュースキャスター平野啓子さん(昭五八・

文・元ミス東京)の司会で、西原春夫前総長と野球解説者広岡達朗氏

(昭二九・教育)の講演が行われ聴衆に夫々深い感銘を与えた。

西原先生の講演要旨(演題は「現代若者考」少し違った視点から)

「最近の若者に対して昔と違って、自己中心的で無気力、無感動で日本

の将来が思いやられるなどという一般の批判があるが、三十年間若い人

と生活して、それが必ずしも当たっていないかと考えている。昨年の早明

ラグビー戦のタイムアップ二分前の奮戦、早慶野球決勝戦の球場を埋め

た応援ぶりなどを考えても無感動ではない。もし若者が変わったとすれば

社会の変化や大人が変えたのであって、責任の一端は大人にあると思う。

次に最近の若者について痛感するのは中味と外観が必ずしも一致しないことだ。先日のバキスタンの冒険

で、日パ両政府まで紛争に巻き込んだ学生も外観からはとても冒険する

ようには見えない。又嘗てドーバー海峡を泳いで渡った女子学生、更に

早稲田大学交響楽団の存在、アマチュアでありながら欧米の音楽の本場

で演奏する心臓の強さ、然も行く先々で超満員、万雷の喝采を得るなど

進取の精神そのもので、我々は外見だけで若者を見てはいけない。第三

に最近の女性の活躍ぶりだ。以前の

女性無視と違って戦後は権利と社会的地位を求めて、社会の機構の中に自然と入って大活躍するようになった。最後に少年犯罪などに關して、親の愛情の欠如は勿論だが過保護もいけないことに留意すべきである。」



広岡達朗氏の講演要旨(演題は「勝者の方程式」)

「プロ野球に於てどうしたら勝てるか。選手を育てるより良き指導者を育てる時代がきているのではない

か。アメリカに於ては特に良い選手を集める努力は無論だが、良い選手

を集める人を集めることが肝要であることはニューヨークメッツがその

良き例である。又日本の選手が引込み思案の者が多いのに対し、アメリカ

カでは選手がやる気満々で自己の能力をアピールすることに全力を盡し

ている。私は選手、コーチ、監督時代を経て耐える人が伸びることや選

手たちに、食い物にまで細心の注意を拂い、更にマイナス思考を止めて

積極的に「怒らず、恐れず、悲しま

ず」の信念で人生を送って行くことを学んできた。」

講演会が終わると再び小ホールで懇親会に移る。会員と来賓の他に父兄の希望者も含め一四一名が参加した。

堀幹事の司会で会長挨拶、府中校友会松本会長の祝辞に続き、西原前総

長と林会長の樽酒(小笠原忠八郎さん寄贈)の鏡割り、立川稲門会砂川

会長の乾杯で懇親に入る。途中石川要三衆議院議員(昭和二六・経)も

参加。平野啓子さんや吉尾市長と共に夫々ユーモア溢れる挨拶あり。

最後に元大学応援部秋沢君のリードで校歌斉唱、富沢副会長の三本締め

で閉会を宣したが感激した出席者は解散せず、小金井稲門会寺本会長や

武蔵野の平野会長、西原先生、調布三田会竹下会長も次々と登壇、再び

会場は興奮の坩堝と化した。かくて前代未聞の三十分超過の懇親会はや

つと閉幕したのである。



出席者(来賓)西原前総長、安江秘書課長、石黒校友会代表幹事、宮

典、和田良信、

内事務局長、調布三田会竹下会長以下七名、石川要三衆議院議員、平野

啓子氏、ロータリー佐々木会長、他市稲門会一八王子、国分寺、国立、

府中、稲城、保谷、立川、多摩、三鷹、小平、小金井、昭島、青梅、武

蔵野各稲門会代表三十四名、(会員)青木一彦、荒木淳一郎、秋沢淳

雄、石沢文夫、石野忍、市来和文、稲田睦、伊藤忠文、石川隆史、榎本

茂男、海老名宏、大串敏昭、大谷津博、大友美英子、小笠原忠八郎、小

野達夫、大竹重男、笠原昌夫、金津彰一、香山弘之、川岸正明、木村栄

三郎、倉田実、栗田裕巨、河野治郎、小堺石次郎、紺野英夫、斎藤義久、

佐藤英夫、坂本信治、澤井健隆、瑛彰彦、渋谷信、嶋田太郎、芝崎光

郎、塩沢三男、柴田春夫、鈴木雅俊、鈴木靖二、関信明、関川平吉、園田

光司、竹林信行、田辺明子、津田弘敦、角尾貞夫、寺沢剛毅、富沢慎哉、

富永昌夫、内藤重勝、中野完二、中村俊一、中谷俊一、濁川寿次、濁川

義治、西脇潤、根津稔、野口邦子、芳賀孝、林貞夫、原証念、原田広美、

樋口美作、土方寅、福田照明、福富達、藤山吉和、二又祐一、船尾和三、

宝珠山琢、堀龍之介、本多和行、細川一二、前田利民、丸山健二、舞木

孝治、前島廣司、村上誠二、村上鉄二、室中道雄、元木勇、元木茂孝、

本村佳久、山沢輝久、山田寿三、吉尾勝征、吉川宏、吉田定次、吉田泰

典、和田良信、

(富沢慎哉記)

十周年を迎えて

会長 林 貞夫



調布稲門会は五十六年十月に創立し、本年十周年を迎えました。

去る五月二十六日の記念総会の公開講演会は、共に教育、スポーツ界の第一人者である西原、広岡両氏の体験に基づく格調高い講話に深い感銘を受けました。総会、懇親会も創立時に迫る盛況で十周年を飾るに相応しい内容でした。

創立以来十年、会長として大過なく運営できましたのも会員皆様のご協力の賜と心から感謝申しあげます。五十二年十月、府中の松本会長が会社におみえになり、「調布に稲門会を」と熱心なお話を聞き、早速、そのころ市議だった吉尾市長に相談し、富沢、元木、中村さんらに呼び掛け大学と連絡をとり、各市の総会に一連の不祥事の後で、百周年募金の真最中であり、その為の組織造りではと思われ、なかなか発足できず難産でした。役員が決まってからは全員で校友会名簿を持って、地域別に選挙戦のように自宅訪問したり、電話で入会を勧誘した結果、創立総会

には清水総長、西原常任理事を初め百四十名余りのご出席をいただき、「調布は凄い」と評判になり、六十年四月には三多摩連合会の当番市を務めるなど順調な滑り出しでした。しかし年々出席者が少なくなり五日には半減しピンチを迎えました。六十二年五月調布三田会の誕生は沈滞気味の当会に活力を与えてくれました。早慶互いに総会に出席し合同フェスティバルを開催、福祉祭りに参加して交流を計り、更にゴルフ、テニス、ソフトボール、囲碁、将棋、カラオケ等スポーツや趣味の対戦で親睦を深め、夫々の同好会の活動を盛んにしました。特に昨年から福祉祭りへの合同参加は、三田稲門一体となって地域福祉に貢献することができ、意義深いものがあります。さて、一昨年来世界の情勢は大きく変化し、東欧諸国の民主化に始まった共産主義の衰退は、ベルリンの壁崩壊、東西ドイツの統一からソ連共産党の解体にまでおよび、加えて湾岸戦争の勃発は日本の政治経済に大きな影響を与えました。一時は続投決定的といわれた海部首相もその余波を受け、二年三ヶ月の任期を全うし退任することになりました。稲門内閣としては長命ですが、政治改革法の廃案と言う幕切れは残念至極です。今回の政変劇の登場人物は、早慶の卒業生が多く夫々重要な役回りを演じています。政界、財界はもとより、早慶両校にとって不得手な官界にも進出し、近い将来東大を追い抜くものと思えます。

かつて、西原前総長は「卒業生の社会での活躍によって大学の評価が上がり、現役の教職員や学生の努力によって卒業生も評価が高くなり、総体的に発展する」という所謂「大早稲田構想」を発表されました。今早稲田は小山総長を先頭に三者一体となって世界の大学を目指して前進しています。私達の調布稲門会も十周年を契機として、初心に帰り、会員の増強に努め、親睦を深め、母校の発展に協力し、三田会と共に地域社会に貢献したいと思えます。校友各位の一層のご支援をお願い致します。



司会 平野さん



会場風景

調布市体育協会、調布三田会、(株)創建、深大寺、西北学院、三栄証券、魚金、ホンダ写真店、東京建興(株)、富士見屋、友信(株)、京王百貨店、三菱銀行、富士銀行、第一勧業銀行、協和埼玉銀行、三和銀行、同栄信用金庫、農協西調布支店、御林酒店、スナック万葉、深大寺そば処元祖嶋田屋、関東広告マッチ社、調布清掃、会席料理浜乃家、秋山ビルディング、中村不動産、シグコーポレーション、日光ペン(株)、山田屋本店、生研建設(株)、興亜火災保険、林建設(株)、林建設一栄会、イギア調布、東京ガス、N T T、第百生命、東京調布R C、日本アルミ建材、山三硝子(株)、東洋醸造(株)、オリエント時計、(株)マルマン、男爵亭、東京海上火災、新栄鹿島(株)、伊勢丹、掘紙管、日光貿易(株) につかつ、海老名不動産鑑定事務所

今年度の3ヶ月の結果を次に掲げます。
★ 第十九回稲門コンベン 三月六日・於秋山CC 優勝 下村邦夫
★ 第六回三田稲門コンベン 四月十日・於桜ヶ丘CC 優勝 笠井俊志
★ オープン戦 九月十日・於河口湖CC 優勝 笠井俊志
今後とも皆様のご協力を得て、ゴルフを通じて楽しく稲門の親睦を深めてまいりたいと思えます。
幹事 室中道雄 四八商 八七四六一〇



会場風景

同好会通信
カラオケ同好会
平成三年一月二十六日(パール)
調布稲門会新年会は祝事後の後カラオケ会に移行。三田会員も含め多勢が賑わい新年を祝した。六月十五日は堀幹事のお世話で「みやび」に席を取り二十名が集まり、お互いのご自慢となりました。麻雀大会の帰りの方も参加下さって盛り上がりしました。五月二十六日総会後の例会は十周年特別記念の為中止となりました。本年はより一層充実させたいと思えます。
幹事 津田弘教 三五法
〇四二二四五一一六五一

ゴルフ同好会

ゴルフ同好会は、現在六十名位の会員で構成されております。春・秋二回のコンペを基本に最近三田会との合同コンペにも力を入れております。

早稲田と慶應の心意気

調布三田会々長 竹下堯二

去る五月二十六日調布稲門会の十周年記念総会及び講演会が、誠に盛会裡に催された。私は調布三田会々長としてお招きを受け、その懇親会で請われるまゝに挨拶を申し上げた。その時の挨拶を含め今回の記念会報を出すに当たって、何か投稿せよと富沢副会長よりお話があり、固辞したが、前回の会報に「早稲田と慶應の共通項」なる拙文が好評だったからと煽てにまんまと乗せられ、取ってこゝに一文を出す次第となった。

慶應義塾は大きな式典に際しては、必ずしも他ならぬ早稲田大学総長をお招きして祝辞を戴く習わしがある。それ程両大学は他には無い親しき友であり、且つ同時に激しいライバルでもある。

慶應義塾創立百二十五周年の式典に際しては、前総長の西原春夫氏が演壇に登られ出席者に話されたものは私の心を打つものであった。その内容は三田評論（昨年十一月号）に掲載されたものである。その要旨は

「明治卅四年福沢先生が逝去されたその葬送に当たり、塾生の多くが先生の柩を担ぎたいと申し出た。その時先生の高弟の日野昌造が塾生を説得し、君達が福沢先生の柩を担ぎたい気持ちには誠に尊いけれども、いま君達若い次の世代の者たちが、本当に背負わねばならぬのは先生の柩ではなくして先生が残されたこの慶應である」という言葉である。」

早稲田大学の総長が慶應義塾の塾生を前に、慶應の古事を引用して道を説くという事は早慶の両大学にして始めてスムーズに受け入れられる事ではなからうか。これが私の心を打った一事であったので、ご挨拶の中でお話をしたわけであった。前述の十周年記念稲門会で、西原前総長にお目にかかり親しくお話をしたがそのお人柄の良さが印象的であった。去年慶應義塾「大学部」開設百年記念式典にも西原総長が出席され祝辞を披露された。「春の早慶戦は優勝が掛かっていた。一勝一敗となり第三戦を迎えるに当たり私は二万五千に及ぶ学生を前に挨拶というかアジ演説をした。今回の慶應は強かった。しかし我々は慶應が弱いことを欲しない。慶應は強くあって欲しい。なぜならその強い慶應に勝たなければいけないのが早稲田大学だからである。」なぜこの言葉をわざわざ慶應義塾の本丸の講堂で申し上げるかという、これは単に野球やスポーツだけの問題ではなく政治、経済、文化、あらゆる面に於いてそうである。慶應の方々には私共早稲田の人間と逆の形で全く同じ心意気を抱いておられると確信するが故に、こゝで申し上げたのであります。」

早稲田大学の総長が慶應義塾の塾生を前に、慶應の古事を引用して道を説くという事は早慶の両大学にして始めてスムーズに受け入れられる事ではなからうか。これが私の心を打った一事であったので、ご挨拶の中でお話をしたわけであった。前述の十周年記念稲門会で、西原前総長にお目にかかり親しくお話をしたがそのお人柄の良さが印象的であった。去年慶應義塾「大学部」開設百年記念式典にも西原総長が出席され祝辞を披露された。「春の早慶戦は優勝が掛かっていた。一勝一敗となり第三戦を迎えるに当たり私は二万五千に及ぶ学生を前に挨拶というかアジ演説をした。今回の慶應は強かった。しかし我々は慶應が弱いことを欲しない。慶應は強くあって欲しい。なぜならその強い慶應に勝たなければいけないのが早稲田大学だからである。」なぜこの言葉をわざわざ慶應義塾の本丸の講堂で申し上げるかという、これは単に野球やスポーツだけの問題ではなく政治、経済、文化、あらゆる面に於いてそうである。慶應の方々には私共早稲田の人間と逆の形で全く同じ心意気を抱いておられると確信するが故に、こゝで申し上げたのであります。」

早稲田はめでたく優勝した。早稲田の西原総長にして初めてこの言でありである。今年の春同様早慶戦に優勝がかかった。私は心の中で前述の西原総長の逆の言葉を慶應の学生達に語った。「早稲田は強くあって欲しい。その早稲田に勝たなければならぬのが慶應義塾だからである。慶應が今度は優勝した。我々は両者の為に常にエールを交換しよう。フレーフレー早稲田。フレーフレー慶應。」



麻雀同好会

今年も二月と六月の第三土曜日に大会が催され、いづれも五卓を囲む盛況で、飲み且つ喰い乍らなごやかに麻雀を楽しみました。年に三回開催されて居りますが、幹事の堀・関兄らのお骨折りで大会への参加者が時流に逆行してむしろ増えている状況は嬉しいことです。麻雀は若い人にはストレス解消に、年配者には頭の体操、指の運動が老化防止に役立つとか。また額を接して諸兄・諸姉とお近づきになれる楽しさもありま

す。今回は十一月十六日(土)午後三時から「憩」で開催されますので多数の同好の方々のご参加を期待して居ります。
大谷津 博 (十九商) 記
幹事 堀 龍之介 八七一―一五一

テニス同好会

毎月第二土曜日の九時―十二時、深大寺正門前入る桜田倶楽部に於いて練習及び練習ゲームをやっています。今年六月八日九日に埼玉県越生町の埼玉厚生年金センターに於いてテニス合宿を行いました。前日はテニス、夜は宴会、翌日はテニスと十分に楽しみました。来年も同様の企画を予定しています。なお調布三田会の方々にも参加をお願いしています。

幹事 根津 稔 三七法
八四―八六四七
河野瑠美 三六教
八八―六七八一

ソフトボール同好会

七月二十八日(土)午後二時より関東村R2グラウンドに於いてソフトボールの練習と試合を行った。今回は調布三田会が不参加となつたため、府中校友会と当会だけの大会と重なつてしまい、参加者が少なく外野一人とゆう変則な試合となりました。結果は仲良く一勝一敗でした。来年は多数の方の参加を期待します。

幹事 根津 稔 三七法
八四―八六四七

太極拳同好会

当同好会は太極拳を通して健康と人生哲学を学ぶ集まりです。発足以来八年余り稲門会の諸兄は余り増えておりませんが、一般市民の方々が見学して、入会される方が多く、現在三十名を超える会員が演武をすると、会場が手狭になる程の盛況です。

当同好会では、毎日曜日午前十時より十一時半頃まで、調布市総合体育館で開催しています。

又毎金曜日には同所で中野、竹林両氏の令夫人が教室を開いて指導しています。
この他、会の終了後、四季折々、新年会、お花見、暑氣払い、その他会員相互の交流を深め、中野師範の人柄そのままの和氣藹藹の集まりです。諸兄の健康のため参加をおすすめします。
内藤重勝 二十八商

囲碁・将棋同好会

当同好会では一月と七月に大会を行っています。今年の成績は次の通りでした。
一月大会 参加者 十九名
優勝A組 囲碁B組 将棋
優勝芳賀五段 濁川初段 濁川初段
二位三浦三段 藤山五級 中野二段
三位野沢五段 川副二段 加藤初段
七月大会 参加者 十九名
優勝萩尾六段 川副二段 中止
二位田中四段 稲田五級 中止
三位三浦四段 山元二段 中止
七月の将棋大会は参加希望者二名のため中止いたしました。同好各位の参加を希望します。
当同好会では、毎月第四日曜日に菊野台福祉センターで例会を開催しています。
おひまの節はお出掛け下さい。
今年より三多摩の囲碁同好の士と交流手合わせを行います。機会をみて対抗戦等を開催したいと思っておりますのでご期待下さい。
幹事 内藤重勝 二八商
八八―二四二七

私と調布、そして稲門会

S 25 理工建築 笠原昌夫

早いもので、私が杉並から調布へ移って足かけ二十六年になる。環状七号線が出来て騒音と排気ガスで住環境が悪くなった事と、別居して世田谷に住んでいた父母の年齢もあって、一緒に住む家を建てる為の用地探しが始まり、予算もあって、帯に短したすきに長して嫌になる程苦勞した訳だが、偶々父の知人の紹介で東つつけ丘の現在地に落着く事になった。

幼い頃から育った世田谷の地に似た趣と、野原や畑のにおいが何故か新鮮で、近くに小川のせ、らぎもあり、人家の密集もなく、四季折々の彩もあってまずまずの地と思えた。今は、小学校四年と二年で転校してペソをかいていた娘と倅も夫々伴侶を得て別居し、近隣もすっかり変容した訳だが、歳月の経過の早さがしみみ感ぜられる此の頃である。

さて、十年前に設立総会のお知らせを受け、出席したのが私が調布稲門会の活動のお手伝いをする端緒となった。

当初は調布の地に生れ育った稲門出身の方々が主体となり、会長、副会長を中心とする熱意と努力により、八王子稲門会他先発の三多摩地区稲門会の跡を追って結成に至ったが、現在は、戦後調布市に移住された方々、又、地域の発展に伴って市内に進出した企業に勤務する方々との一体化が見られ、囲碁、将棋、ゴルフ、ソフトボール、テニス、太極拳、

マーチャン、カラオケ等の同好会活動を核として感迎の広がりを目指し、三多摩地区稲門会との連繫、調布三田会との友好を保ち乍ら、地域の福祉と文化活動にも参加する等拡大の歩みが進められている。

仕事人間で過し、育ってきた夫々の年代の学友と、趣味につながる友以外は仕事を通じての友しか持たなかった私だが、地域社会の中で全く異なった環境で過された同門の諸兄が、「稲門」という二字で結ばれ、組織の進展に盡くされ友情を深めてゆかれる姿に接し、私も少しでもお役に立てればと思っている。

そして金の運営と実務に力を盡くさされている方々の後継を早く育て、組織の充実を図り、調布稲門会の発展を願う事切なるものがある。

福祉バザーにご協力を!!

来る十二月八日(日)に行われる予定の恒例の調布市福祉まつりに本年もバザーに参加したいと存じますので会員各位にはご家庭に埋蔵の品などご寄付願えれば幸いです。(但し飲物は除く)十一月末日までにご連絡下さい。担当は濁川幹事です。

(八六一一一一林建設内)



◎過去一年間の動き

- 平成2年
 - 12 幹事会
 - 紺碧第九号発行
- 平成3年
 - 1 幹事会
 - 新年会(三七名)
 - 2 幹事会
 - 幹事会(三回)
 - 3 幹事会(二回)
 - 4 第十回記念総会
 - 5 調布三田会総会(林他五名)
 - 6 稲城稲門会(富沢七方)
 - 7 幹事会
 - 8 国分寺稲門会(富沢)
 - 9 保谷稲門会(濁川)
 - 三鷹稲門会(元木)
 - 10 三多摩稲門会会長(於青梅)(林、濁川)
 - 11 幹事会
 - 12 多摩稲門会(元木)

- 11 府中校友会(林、元木、関、濁川)
- 立川稲門会(中村、土方)

◎年会費について

年会費は経費高騰の折、昨年総会より金参千円に値上げさせて頂きましたのでご諒承下さるようお願いいたします。なお本年度分未納の方は、左記銀行振込又は便宜の方法でご送付下さい。五月の総会出席者は不要です。

- 1、富士銀行調布支店
- ①口座番号99797965
- 2、第一勧業銀行調布支店
- ②口座番号1158237
- 3、三和銀行調布支店
- ③口座番号3571512

調布稲門会役員名簿一覽表

役職	氏名	住所	学歴	職業
会長	林 貞夫	S 25	法学	幹事
副会長	富沢慎哉	S 16	12 商学	幹事
副会長	中村俊一	S 23	政経	幹事
副会長	五島晋作	S 27	商学	幹事
副会長	元木 勇	S 37	政経	幹事
相談役	秋山 一	S 22	政経	幹事
相談役	林 和男	S 24	政経	幹事
相談役	杉山 高	S 16	専政経	幹事
相談役	渋谷 信	S 46	推薦	幹事
会計	土方 貢	S 28	法研	幹事
監査	本多利行	S 33	理工	幹事
監査	内藤重勝	S 28	商学	幹事
監査	笠原昌夫	S 25	理工	幹事
幹事	船尾和三	S 26	商	幹事

発行責任者 林 貞夫 ☎82-112332

編集委員 富沢慎哉 ☎82-16391

土方 貢 ☎83-13515

濁川義治 ☎82-17303

関 信明 ☎82-12823

元木 勇

☎03-3300-1455 四

堀龍之介 ☎87-1151

